

平成20年度 大阪府観光統計調査結果

大阪府府民文化部都市魅力創造局観光課観光振興グループ

このたび、大阪府では、平成20年度の「大阪府観光統計調査」の実施結果を取りまとめました。

本調査は、観光客数及び経済波及効果を把握するために、(社)日本観光協会策定の「全国観光客数統計調査」(全国統一基準)に基づき毎年度実施している調査です。

本調査結果から推計した平成20年度に大阪府内を観光した「総観光客数」は、1億4,362万人です。

1 大阪府総観光客数及び経済波及効果等について

【総観光客数及び経済波及効果】

()は平成19年度推計値

○ 総観光客数 = 府外観光客数 + 府民観光客数

1億4,362万人 = 6,318万人 + 8,044万人
 (1億4,366万人 = 6,330万人 + 8,036万人)

○ 消費規模 = 総観光客数 × 観光消費額

2兆161億円 (2兆353億円)

参考 府内の百貨店年間販売額

9,967億円

<「平成20年商業動態統計調査」>

府内のコンビニエンスストア年間販売額 4,200億円

<「平成19年商業統計調査確報」>

○ 経済波及効果 過去の調査で得られた係数等による推計

2兆8,145億円 (2兆8,450億円)

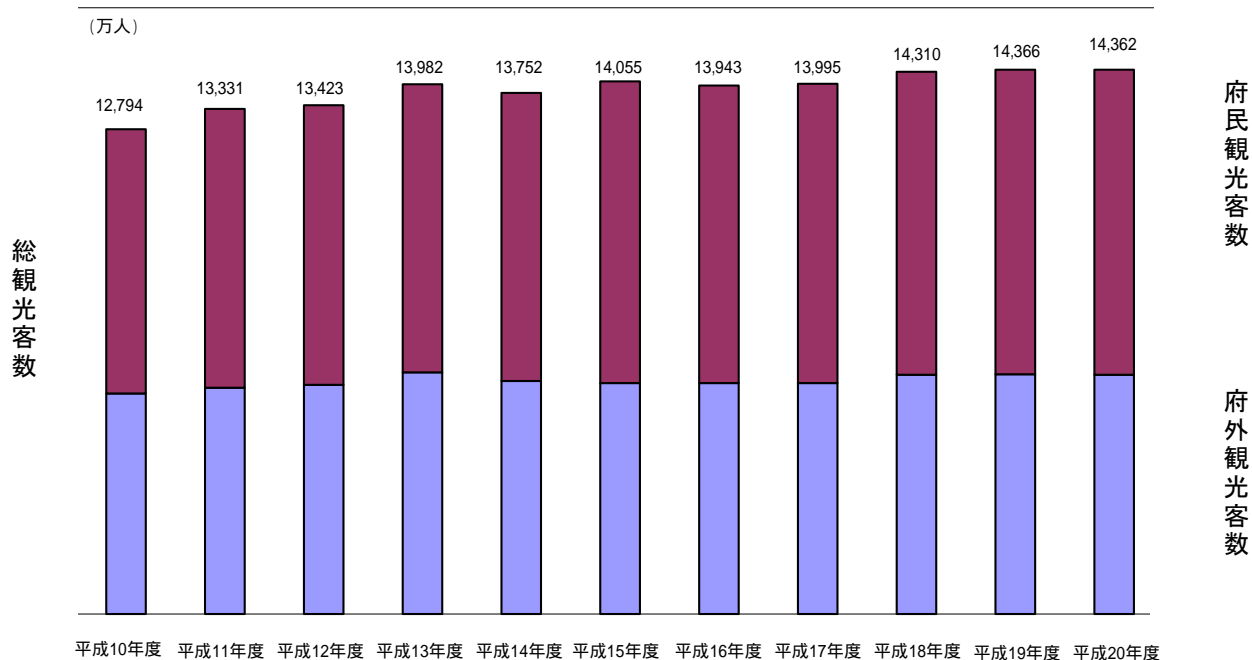
参考 府内総生産

38兆9,218億円

府内総生産(サービス業) 9兆8,665億円

<「大阪府民経済計算」平成19年度確報>

【総観光客数の推移】



総観光客数は、当調査開始の平成10年度から10年間で1,568万人の増加

総観光客数14,362万人は、府の人口(882万人【平成17年度国勢調査】)の約16倍

府外から訪れた「府外観光客」6,318万人は、総観光客数の44.0%

府民観光客数8,044万人は、府民一人あたり平均約9回、府内観光したことと同規模

経済波及効果は、2兆8,145億円で、平成19年度より305億円減少

【地域別の総観光客数】

北 大 阪 1,340万人(1,397万人)

東 部 大 阪 632万人(602万人)

南 河 内 431万人(393万人)

泉 州 1,529万人(1,539万人)

大 阪 市 10,430万人(10,435万人)

()は平成19年度推計値

大阪市域への訪問客は、全体の72.6%

大阪市域は、平成19年度と比べて5万人の減少

大阪市域を除く府域では、平成19年度と比べて、

東部大阪地域で30万人、南河内地域で38万人増加したが、北大阪地域で57万人、泉州地域で10万人減少し、全体で1万人の増加となった。

(参考)

地域区分	市町村名
北大阪	吹田市、高槻市、茨木市、摂津市、島本町、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町
東部大阪	守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四條畷市、交野市、東大阪市、八尾市、柏原市
南河内	富田林市、河内長野市、羽曳野市、松原市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
泉州	堺市、泉大津市、和泉市、高石市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町
大阪市	大阪市

2 観光統計調査の調査方法について

【大阪府総観光客数の算出方法】

大阪市域を除く大阪府域（大阪府が調査）の観光客数と大阪市域（大阪府実施の「大阪市の観光動向調査」）の観光客数を合算したものを、大阪府総観光客数としている。

大阪府域分（大阪市域を除く）の観光客数の推計方法

府域の主要な観光施設及び宿泊施設（大阪市域を除く）の利用者数を、平成 16 年度の調査から算出された指標で調整し、実人数として推計した。

当調査は、(社)日本観光協会によって策定された「全国観光客数統計調査」(全国統一基準)に基づいている。

平成 20 年度利用者数の調査施設数

観光施設 296 ヶ所及び宿泊施設 154 ヶ所

観光客のとらえかた

大阪府内の観光対象を訪れた総観光客のうち、府民を「府民観光客」、大阪府域以外から訪れた観光客を「府外観光客」としている。

経済効果等の分析方法

大阪府総観光客数から、これまで実施してきた調査で得られた係数等を使って経済効果等を推計している。

ホームページで調査結果を掲載しています

<http://www.pref.osaka.jp/kanko/toukei/index.html>